

壁紙施工要領書

- スポンジエース・スポンジエース N -

■特長

スポンジエース、スポンジエース N は、掲示板用の内装材です。バックングは布裏（メリヤス地）になっています。また、スポンジエース N は防火対応品で、石膏ボード下地との組合せで「準不燃」仕上げとなります。

■下地調整

①石膏ボード、ベニヤ合板下地の場合

- ・石膏ボードおよび合板の継目部分をパテ処理し、平滑にしてください。
- ・釘の頭が出ている場合は、下地面より沈めるよう金槌等で打ち込みます。

②モルタル下地の場合

- ・モルタル表面に付着している砂、ホコリ等を取り除き、シーラーで下地調整をして乾燥させてください。

■接着剤

- ・接着剤は、でん粉系の接着剤にエチレン酢ビ系ボンドを（石膏ボード、ベニヤ合板で約 30%、モルタルで約 40～50%）混合し、糊：水＝10：6～7 程度を目安にし多めに塗布してください。（水分の多い薄い糊の場合、壁紙が糊自体を吸い込んでしまい、接着力が低下します。水分を余分に吸い込むことで伸び切るまでの時間が長くなったり、ふくれの原因にもなります。）

■オープンタイム

- ・接着剤塗布後は、うませ時間は 5～10 分程度を目安に作業を進めてください。糊付け後、天地方向への縮みがありますので、オープンタイムは長く取らないように注意してください。

■施工

- ・腰が強く自重のある材料なので、癖がつかず出入隅の納めにやや難点があります。納まりが悪い場合、エチレン酢ビ系ボンドを捨て糊での対応が有効です。（下地によっては四方回りをボンドのみで納めることも有効です。）
- ・ジョイントは重ね裁ち（ダブルカット）で納めるようにしてください。（石膏ボード等の下地の場合、下地面まで切りつけないようにしてください。）突き付けでの糊のはみ出しを防止します。

■その他

- ・厚み（1.0mm）がありますので、比較的下地の不陸は拾いにくい材料です。